



2011年9月5日
号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)
メール press@dpj.or.jp
URL http://www.dpj.or.jp

NO. 12 神尾てるあき

てるてるネットワーク

ホームヘルパー2級資格を取得！！

1. 福祉政策の重要性

私は、これまで地域活動をする中で福祉政策の重要性を強く感じてきました。一口に福祉と申しまして、介護・介助を受ける方々、その家族の方々、また、介護・介助をする方々と、立場によって理解の仕方も違いがあると思います。そこで、自身で福祉の現場を知ることも重要であると考え、この度、ホームヘルパー2級の資格を取得し、現在江戸川区内の福祉施設で介護職員として働いております。ホームヘルパーとは、心身の障害などにより日常生活を営む上で支障があって、家族の介護が困難な状況にある人がいる家庭に派遣されて日常生活の援助を行う者をいいます。訪問介護員と呼ばれることもあります。

2. 福祉の現場で感じたこと

福祉の現場に携わり強く感じたことは、介護職員が何でも手助けすれば良いのではないということです。利用者の方々が自分の力でできることは、自分でしていただかなければ、身体の機能はどんどん衰えていき、本当に何もできなくなってしまうからです。私たち介護する側に求められていることは、介護を受ける方々がどこまで自身の力でできるのかを見極め、できない部分のお手伝いをすることであると思います。ホームヘルパーというと高齢者の方の介護をするというイメージが強いかと思いますが、ホームヘルパー2級は、三障害（知的・身体・精神）の方々の介助をする資格も含まれています。障害者虐待防止法の成立、障害者自立支援法の改正、障害者総合福祉法の創案など、今まさに障害者福祉制度も大きく変わろうとしています。そのような中、福祉の現場で直接勉強できることは、本当に貴重なことです。

3. 見えてきた問題点

また、自身が福祉の現場に身を置くことによって、これまでは感じてこなかった日常の問題点にも気づくようになりました。例えば、点字ブロックの在り方について考えさせられる点があります。江戸川区内の公共施設や交通機関でも設置されている点字ブロックですが、経年劣化によって凹凸部分が認識しづらくなっている場所や、駐車車両や障害物によって点字ブロックが隠れてしまっている場所があります。点字ブロックは、視覚障害者をお持ちの方の誘導がその大きな役割ですので、認識しづらい状況や隠れてしまっている状況では意味がありません。今年の1月に発生したJR目白駅での視覚障害者の転落死亡事故も、点字ブロックの不認識が原因であったといわれています。

バリアフリー化による段差の解消、多目的トイレの設置、ノンステップバスの増加など、高齢の方や障害を持った方に対する施策が徐々に広がってきている一方で、このような事故が毎年のように発生してしまうのは、まだまだ不十分な点が多いことの現れです。健常者の立場では、高齢の方や障害を持った方の困難には気づきにくいものですが、ホームヘルパーとして接することで、そうした方々の目線により近づいて物事を見ることができるようになりました。

4. ノーマライゼーションの考え方

福祉制度を考える上でのキーワードの1つに「ノーマライゼーション」という言葉があります。このノーマライゼーションは、高齢者も、若者も、障害者も、健常者も、すべて人間として普通の生活を送るために、共に地域で暮らし、共に生きる社会を目指すという考え方です。もともとデンマークでの知的障害者の施設改善運動の際に提唱されたもので、1970年代から日本でもこの理念の下に福祉制度を考えるようになりました。しかし、未だに高齢者・障害者に対する偏見や差別は残っているように見えますし、高齢者・障害者を施設に入所させ、社会から隔離・分断するような傾向があるように感じます。例えば良く用いられるのですが、日本では障害者を持つ家族は、近所の方から「大変ね～」と同情されます。これに対して海外の福祉先進国では、「その子にはどのような特技があるの？」と非常に障害を前向き捉える姿勢があります。このように、我が国の福祉制度はまだまだ低い意識の段階に留まっているといえます。平成17年の発達障害者支援法の施行により、身体障害者、知的障害者、精神障害者に加えて、発達障害者も支援の対象となりました。その後の障害者自立支援法の改正によって、発達障害者が精神障害者に含まれるようになり、ますます雇用機会の拡大がなされると期待されるようになりました。このような障害者雇用の促進も1つのノーマライゼーションの現れではないでしょうか？ 江戸川区においても、ノーマライゼーションが実現できるよう、これからも現場目線での活動を続けてまいります。

神尾てるあき後援会 会員募集中

神尾てるあき後援会は、神尾てるあき君の日々の政治活動を支援する会です。江戸川区にお住まいの方だけでなく、江戸川区以外にお住まいの方でもご入会いただけます。神尾てるあき君の政治信条にご賛同いただける方は、後援会会員となってご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

年会費:一口 1,000円 三菱東京UFJ銀行 瑞江支店(ミズエシテン) 普通口座 0387675

名義:神尾てるあき後援会 神尾昭央 (カミオテルアキコウエンカイ カミオ テルアキ)

神尾昭央(かみおてるあき) プロフィール

1982年(昭和57年)9月21日、静岡県西伊豆の土肥町(現在の伊豆市)で生まれる。日本大学三島高等学校卒業。日本大学法学部法律学科(法職課程)卒業。駿河台大学大学院法務研究科(法科大学院)修了。当時の東京都議会議員初鹿明博の秘書となり政治の道を志す。結婚・長男誕生。衆議院議員初鹿明博の秘書として福祉政策を中心に活動。2011年・江戸川区議会議員選挙において2021票を獲得するも落選。ホームヘルパー2級資格を取得し、江戸川区の福祉施設にて勤務。

【神尾てるあき事務所】 〒132-0003 東京都江戸川区春江町3-32-3

TEL/FAX 03-5664-6708 メール info@kamioteruaki.com

ツイッター: kamioteru ホームページ <http://kamioteruaki.com/>